

じゅんさい池

ガイドブック mini

秘密の  **カギ** を
見つけに行こう!



もっと知りたい!じゅんさい池

新潟空港に近い、新潟市東区の物見山地区。
住宅地の中に“こんもり”残る森があります。
松がしげる階段を下っていくと…



これが
“じゅんさい”!
探してみよう!

“じゅんさい”があるから
「じゅんさい池」。

昔はこの地域の特産物だったんだって!

じゅんさい

開く前の若芽が、つるんとした透明なゼリーに
おおわれている。この部分をお吸い物や酢のもの
で食べる。

名
前



じゅんさい池をつくったのは誰…!?

【図1】じゅんさい池と周辺の砂丘地形の様子を重ねた図



じゅんさい池周辺は、かつては物見山砂丘とよばれる大きな砂丘地でした。新潟では、冬には日本海側から北西の風が砂丘に吹き付けます。強い風によって、砂地はスプーンのようにけずられて丘の斜面に浅いくぼみができます。図1を見ると、これらが北西から吹いてくる風によってできたことがわかります。

砂丘のくぼみに地下水がわき出るなどして水がたまった池・湖を「砂丘湖」といいます。じゅんさい池の東池・西池は、風がつくったくぼみに水がたまってできた砂丘湖であると言えるのです。



風で砂丘がけずられるイメージ



かみちじんじや
上道神社と丘

砂丘のでこぼこした地形は、住宅や商業施設などに開発されるときに多くが平らにされました。現在は昔の様子はほとんどわかりませんが、池のまわりに、昔の地形が残る数少ない場所があります。西池の高台にある東屋と上道神社のとなりにある松におおわれた小高い丘は、砂が積み上がった山の上だったところです。また、元々の「物見山」とは、西池をつくった砂丘の頂上だったこともわかりました。じゅんさい池は、全国的にも珍しい生い立ちをもつとされています。



止まれないや落ちる!池へ向かってスキー!

現在は「①東池」と「②西池」の二つの池からなるじゅんさい池ですが、昔は5つあったと言われており、昔の地形図を見るとそのことがわかります。

図1の③、④、⑤がその部分です。③の部分は、現在もじゅんさい池公園内にあり、まわりより少し低くなっているため、その場所を見つけれられるかもしれません。④は「中池」とよばれていました。

⑤の部分は今の小金公園の北側あたりで、雪が降ると砂丘の斜面を利用したスキー場になっていたそうです。



スキー場の様子



たくさん見つけよう! いろいろな植物・生きもの

じゅんさい池の自然は、砂丘地形や池、周囲に生育する草木や生きものたちがお互いにつながり、影響し合うことで成り立っています。季節によってさまざまな姿を観察できます。



植物



アカマツ



シロバナサクラタデ



タヌキモ

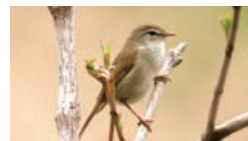


ガマ

野鳥



コゲラ(留鳥)



ウグイス(留鳥)



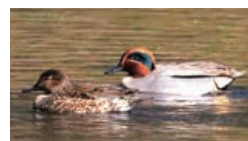
バン(留鳥)



キビタキ(夏鳥)



ツグミ(冬鳥)

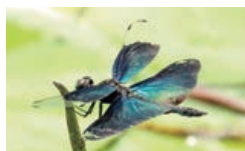


コガモ(冬鳥)

昆虫



モノサシトンボ



チョウトンボ



ショウジョウトンボ



シオカラトンボ

その他の生きもの



ヒダリマキマイマイ



ニホンカナヘビ



アズマモグラ



ホンドタヌキ



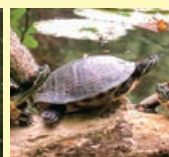
じゅんさい池にもいる! 外来種

多くの動植物がかかり合いつくりだされているじゅんさい池の生態系ですが、外来種による影響が課題のひとつとなっています。外来種の中には、生活力が強く、いったん繁殖すると在来の動植物のくらしを圧迫し、時には絶滅させてしまうものもあります。

園外から動植物を持ち込んで放したり、えさやりなどはしないようにしましょう。



ニシキゴイ



ミシシッピアカミミガメ



アメリカザリガニ



キショウブ



園芸スイレン



フサジュンサイ

外来種は人間が持ち込んだもの。すべて駆除すれば問題は解決するのでしょうか?

“自然と人のかかわり”を考えてみましょう。



池の水でいい湯だな！

じゅんさい池には、東池に「大仏荘」、西池に「権現の湯」という湯治宿がありました。「湯治」とは、温泉に入ってからだの不調や病気を治すことをいいます。じゅんさい池の水で皮膚病が治ったという話が広がったことが、湯治場の始まりのようです。権現の湯を営んでいた主人の話によると、池の水をポンプでくみ上げてわかししており、農家の人たちは稲の収穫が終わると新米を持ってやってきて、自分達で煮炊きしながら湯治をした



湯治場

そうです。湯はどんな病気にも効くと言われ、足や腰の悪い人も訪れたほか、客たちは湯に入ったり大広間で歌ったり踊ったりしていたそうです。



龍神さまのご加護

西池には昔から龍神さまの言い伝えがありました。

女性たちが舟に乗ってジュンサイを採っていると、晴れていた空が急にくもって激しい風が起り、水面に荒波が立って舟が転覆してしまった



龍神さま

そうです。ところが、龍神さまのご加護により助かったという言い伝えが残っており、地域の人々が西池の端にかみちじんじやこんりゅう上道神社を建立し、龍神さまをまつたということです。現在でも、西池南側の道路脇にあり親しまれています。

・ 未来につなぐ じゅんさい池 ・ あなたにとって、じゅんさい池の魅力は何？何が課題だろう？

東区の住宅地の中に残されてきたじゅんさい池。樹林に囲まれた池と自然の中で、水辺の植物や生きもの、鳥たち、また、地域の人々の暮らしがかかわり合いながら時間を紡いできました。今、地域に暮らす私たちも、じゅんさい池の魅力、そして課題を知り、ここにしかない価値を未来につなぎましょう。



地域の環境を守ることは
SDGsの達成にもつながる！

私にもできる！ 未来へつなぐ4ステップ

1 じゅんさい池を知ろう

2 現状や問題を調べよう

3 何ができるか考えよう

4 できることをやってみよう



この「じゅんさい池ガイドブックmini」は、令和3年3月に新潟市と新潟市里潟研究ネットワーク会議が発行した「じゅんさい池ガイドブック」をもとに、小学校・中学校の児童生徒向けに作成したものです。さらに深めて学習する場合には、より詳しい情報が載っている「じゅんさい池ガイドブック」を活用してください。ガイドブックは、「潟のデジタル博物館」からダウンロードすることができます。

※このリーフレット中の写真は、「じゅんさい池ガイドブック」から引用しています。

潟のデジタル博物館



「じゅんさい池ガイドブック」ダウンロードはこちらから！

■ じゅんさい池公園に関すること …………… 東区役所建設課 TEL 025-250-2610

■ じゅんさい池ガイドブックminiに関すること ……… 東区役所地域課 TEL 025-250-2110